

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	端野豊北
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	437,850千円	
年 効 用	②	43,261千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0587	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	736,985千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.68	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農業生産向上	作物生産効果	31,697	ほ場条件の改善による単収の増加
農業経営向上	営農経費節減効果	11,564	ほ場条件の改善による機械作業性の向上による労働時間の短縮及び機械経費の節減
計		43,261	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	幌加内南
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2, 1 0 0, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	1 4 7, 6 2 7 千円	
廃 用 損 失 額	③	1, 9 3 1 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1＋ 建設利息率)	⑤	0. 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	2, 5 5 6, 5 9 6 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 2 1	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農業生産向上	作物生産効果	3 2, 6 4 4	ほ場条件の改善による単収の増加
農業経営向上	営農経費節減効果	6 9, 0 5 1	ほ場条件の改善による機械作業性の向上による労働時間の短縮及び機械経費の節減
	維持管理費節減効果	3 0, 7 9 3	用排水施設の改修等による施設の維持管理費の節減
生産基盤保全	更新効果	1 5, 1 3 9	老朽化施設の更新による従前の機能の維持
計		1 4 7, 6 2 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	北海道	地区名	絵笛
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 8 1 6, 5 0 0 千円	
年 効 用	②	1 4 4, 5 1 8 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1＋ 建設利息率)	⑤	0. 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	2, 5 7 6, 0 7 8 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 4 1	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農業生産向上	作物生産効果	3 7, 2 1 9	ほ場条件の改善による単収の増加
農業経営向上	営農経費節減効果	9 9, 0 9 8	ほ場条件の改善による機械作業性の向上による労働時間の短縮及び機械経費の節減
	維持管理費節減効果	2, 4 6 4	用排水施設の改修等による施設の維持管理費の節減
生産基盤保全	更新効果	5, 7 3 7	老朽化施設の更新による従前の機能の維持
計		1 4 4, 5 1 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	宮城	地区名	東和
-----	-------------	-------	----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	782,250千円	
年 効 用	②	69,515千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	34 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1,239,126千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.58	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果 4,351	水田の排水効果及び水田転換などによる作物面積の拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、ごぼう
	品質向上効果 422	作物生産の立地条件が改良せれることに伴う、生産物の品質の向上 対象作物：馬鈴薯、大根
営農経費の節減	営農経費節減効果 44,825	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、
	維持管理費節減効果 5,698	用排水路等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
	走行経費節減効果 6,037	農道が改良されることにより、農産物の生産並びに流通に係る輸送経費の節減 対象施設：ほ場整備、農道、用排水路
施設更新による従前の農業生産維持	更新効果 6,408	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果 1,249	農道の改良により、道路幅員、舗装の改良等により、燃料、タイヤその他の消耗品の節約や車両修理費、人件費等の軽減 対象施設：農道、集落道
	525	農道等を改修改修する際に社会的要請に基づき、ガードレール等を設置し事故率が減少 対象施設：農道、集落道
計	69,515	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	福島	地区名	ただみ西
-----	-------------	-------	----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	628,000千円	
年 効 用	②	41,418千円	
廃 用 損 失 額	③	9,224千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	33年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0569	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	718,685千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.14	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	6,263	水田の水害防止や乾田化、水田転換などによる作付面積の拡大や単収が増加 対象作物：アスパラガス、夏秋トマト他
	品質向上効果	974	農道が舗装され、荷痛みが減少することによる農作物の品質向上 対象作物：大根、白菜、夏秋トマト
営農経費の節減	維持管理費節減効果	20,776	用排水路や農道の改良による施設の維持管理経費の節減 対象施設：農業用排水施設、農道
	営農に係る走行経費節減効果	5,648	農道舗装による、農業資材や農作物の運搬時間短縮、輸送車両の走行経費の節減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産維持	更新効果	7,713	用排水路や道路が改良されることで、施設本来の機能回復 対象施設：農業用排水施設、農道
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	44	農道舗装に伴う、一般車両の走行速度上昇による走行経費の節減 対象施設：農道
計		41,418	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	御前山
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	618,000千円	
年 効 用	②	40,901千円	
廃用損失額	③	900千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	32年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0578	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	706,730千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.14	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	7,827	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大麦、大豆、キュウリ、トマト、ネギ
	品質向上効果	1,461	農道整備による荷傷み防止 対象作物：キュウリ、トマト、ネギ
営農経費の節減	営農経費節減効果	11,889	ほ場整備等により営農時間の短縮が図られる効果 対象作物：水稲、大麦、大豆、キュウリ、トマト、ネギ等
	維持管理費節減効果	11,747	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	4,593	農道整備により資材や農産物の輸送速度向上、車種変換による効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3,375	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	9	水路の丸太護岸による地域生態系等の保全
計		40,901	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	県営中山間総合整備事業	都道府県名	長野県	地区名	武 石
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	3 5 1, 2 2 5 千円	
年 効 用	②	2 3, 1 7 4 千円	
廃 用 損 失 額	③	9, 7 9 1 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	3 7 8, 3 8 3 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.07	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加・品質の向上	作 物 生 産 効 果	4,861	用水路の改修による単収の増 対象作物：水稻、ばれいしょ、トマト
	品 質 向 上 効 果	172	農道整備による荷傷みの防止効果 対象作物：ばれいしょ、トマト
営農経費の節減	営農経費節減効果	342	大型機械の導入が可能になることによる営農経費の節減 対象施設：農道
	維持管理費節減効果	1,261	用水路等の整備による施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	160	農道整備により資材や農産物の輸送速度向上、車種変換による効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	15,138	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	1,240	用水路の環境配慮施工による環境の保全
計		23,174	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	修善寺
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	466,000千円	
年 効 用	②	27,015千円	
廃 用 損 失 額	③	1,987千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	48年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0490	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	549,340千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.17	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加・品質の	品 質 向 上 効 果	34	農道整備による荷傷みの防止効果 対象作物：大根、白菜
営農経費の節減	維持管理費節減効果	16,792	用水路等の整備による施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	622	農道整備により資材や農産物の輸送速度向上、車種変換による効果
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	9,064	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	503	用水路の環境配慮施工による環境の保全
計		27,015	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	天竜
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	3 1 2, 1 0 0 千円	
年 効 用	②	2 3, 9 3 7 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0580	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	4 1 2, 7 0 7 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.32	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 0 3	水田の用水改良等による単収の増加 や区画整理に伴う作付面積の増 対象作物：水稻、きゅうり
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1, 0 6 9	ほ場の区画整形による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象作物：茶、さといも、きゅうり
	維持管理費節減効果	6, 6 5 8	農道等の整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：農道、用水路、排水路
	営農に係る走行経費節減効果	1 1, 5 7 5	農道整備による農作物輸送等に要する経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3, 0 6 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	4 0 3	用排水路の環境配慮施工による環境の保全
	安全性向上効果	9 6 1	ガードレールの設置による安全性の向上 対象施設：農道
計		2 3, 9 3 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	畑野中部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	4 5 3, 0 7 3 千円	
年 効 用	②	3 0, 8 8 2 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋ 建設利息率）	⑤	0. 0 5 1 0	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	6 0 5, 5 2 9 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 3 3	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2, 7 7 8	ほ場整備に伴う用排水路の整備及び乾田化等による単収の増加及び作付の増減 対象作物：水稻、大豆
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 0, 5 5 3	区画の大型化や農地集積、道水路整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
	維持管理費節減効果	3, 2 1 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道、ため池
	営農に係る走行経費節減効果	2, 1 5 0	農道の改良による農作物等の輸送及び通作に係る輸送経費及び走行経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 0, 6 1 9	老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：用水路、排水路、農道
	災 害 防 止 効 果	1, 5 6 5	施設の新設・改良による災害被害の防止及び軽減
計		3 0, 8 8 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	両津南部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 2 1 8, 6 1 1千円	
年 効 用	②	8 5, 6 9 9千円	
廃 用 損 失 額	③	1 1, 0 3 5千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	3 6年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1, 5 7 8, 9 2 8千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 2 9	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2, 4 7 1	ほ場整備に伴う用排水路の整備及び乾田化等による単収の増加及び作付の増減 対象作物：水稲、大豆
	品 質 向 上 効 果	5 6	農道舗装による荷傷み防止による単収の増加 対象作物：かき
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 4, 0 0 4	区画の大型化や農地集積、道水路整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	1 1, 4 1 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	2 0, 5 0 8	農道の改良による農作物等の輸送及び通作に係る輸送経費及び走行経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 7, 2 4 3	老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：用水路、排水路、農道
計		8 5, 6 9 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	福井県	地区名	三方
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	393,855千円	
年 効 用	②	26,849千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0601	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	446,739千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.13	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1,330	用排水路の整備に伴う単収の増 対象作物：水稻,だいこん
	品質向上効果	2,732	農道舗装により荷傷み率の低下に伴う単収の増 対象作物：さといも,なす,トマト,キャベツ,だいこん,なし,うめ
営農経費の節減	営農経費節減効果	3,282	用排水整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻,大麦,なす,トマト,さといも,だいこん,大豆
	維持管理費節減効果	10,557	用排水改修や農道舗装による維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係わる走行経費節減効果	6,180	農道の改良による農作物等の輸送及び通作に係る輸送経費及び走行経費の節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2,768	老朽化した施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：用水路、排水路
計		26,849	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	岐阜県	地区名	蛭川地区
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	210,684千円	
年 効 用	②	14,215千円	
廃 用 損 失 額	③	110千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	34年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	253,277千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1.20	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	4,661	
	品質向上効果	0	農道整備により荷傷の軽減効果
営農経費の節減	営農経費節減効果	478	農業用水整備により管理労力の軽減効果
	維持管理費節減効果	1,649	農道舗装により維持管理費の軽減効果
	営農に係る走行経費節減効果	3,398	農道整備により資材や農産物の輸送速度の向上
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3,068	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
施設更新による災害防止	災 害 防 止 効 果	961	農道整備により土砂流出の防止効果
計		14,215	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間総合整備事業	都道府県名	岐阜県	地区名	南大野地区
-----	-----------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	209,790千円	
年 効 用	②	17,840千円	
廃 用 損 失 額	③	2,840千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	29年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0.0612	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	288,663千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1.37	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1,099	
	品質向上効果	1,482	農道整備により荷傷の軽減効果
営農経費の節減	維持管理費節減効果	3,603	農道舗装により維持管理費の軽減効果
	営農に係る走行経費節減効果	363	農道整備により資材や農産物の輸送速度の向上
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	11,293	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		17,840	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	新朽木
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	6 1 6, 9 0 0 千円	
年 効 用	②	4 4, 5 0 4 千円	
廃 用 損 失 額	③	1 8, 5 1 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0. 0 5 7 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	7 5 3, 7 5 1 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 2 2	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	4 2	区画整理に伴う用排水分離により、適期落水等の水管理作業が計画的に行われることによる増収。 対象作物：水稻
営農経費の節減	8, 4 9 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の縮減 対象作物：水稻
	1 4, 0 4 2	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路、農業用排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	2 0, 1 1 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：農業用排水路
地域の生活環境の保全・向上	1, 5 0 0	水路施設の改良により排水条件が改善され農産物等の被害が軽減される。 対象施設：農業用排水路
	2 2 0	林地を流下する水路の一部を石積み水路とし、ビオトープ空間を創出する。 対象施設：農業用排水路
	8 4	ほ場整備事業により、区画が整形化され、地積が明確になる効果
計	4 4, 5 0 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	岡山県	地区名	久米
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1,120,350 千円	
年 効 用	②	66,837 千円	
廃 用 損 失 額	③	11,770 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	34 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0560	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1,181,747 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.05	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	9,569 千円	水路整備による単収の増加 区画整理による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、ピーマン、大豆 トマト、キュウリ、ピーマン、ソルゴー、
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	37,013 千円	ほ場の大区画化による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、牧草、 キュウリ、トマト
	維持管理費節減効果	5,199 千円	用排水施設等の改修に伴う施設維持 管理費の節減 対象施設：水路、道路
	営農に係る走行経費 節減効果	2,938 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮 による労働時間や機械経緯費の節減 対象輸送作物：水稲、ハクサイ、 トマト、イタリアン
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	6,397 千円	老朽化した施設の更新による従前 の農業生産の維持 対象施設：道路
施設更新による 災害防止	災害防止効果	5,721 千円	ため池改修による農作物、農地お よび家屋等の被害防止
計		66,837 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	広島県	地区名	砂谷
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1,050,000 千円	
年 効 用	②	77,204 千円	
廃 用 損 失 額	③	千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	36 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0.0543	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	1,421,805 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1.35	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	13,360 千円	区画整理等による新規転作作物の面積拡大や単収増加 対象作物：水稲、広島菜、フキ
営農経費の節減	41,023 千円	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象施設：水稲、飼料作物、広島菜、フキ
	557 千円	水路等の改修に伴う施設維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	15,525 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経緯費の節減 対象輸送作物：水稲、牧草、広島菜、フキ、トマト
施設更新による従前の農業生産の維持	3,354 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	3,385 千円	道路改良により営農に係る走行経費以外に一般交通に係る走行経費節減 対象施設：道路
計	77,204 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	山口県	地区名	みね
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	875,700 千円	
年 効 用	②	86,341 千円	
廃 用 損 失 額	③	5,180 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	43 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋ 建設利息率）	⑤	0.0500	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	1,721,640 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1.96	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2,748 千円	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、キャベツ、白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	11,955 千円	ほ場整備、暗渠排水整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、麦、キャベツ、白菜
	維持管理費節減効果	11,850 千円	道路、水路等の改修に伴う施設維持管理費の節減 対象施設：水路、道路、ため池
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2,822 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路、水路、
施設更新による災害防止	災害防止効果	56,454 千円	ため池改修による農作物、農地および家屋等の被害防止
計		86,341 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	山口	地区名	鹿野大潮
-----	-------------	-------	----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1,029,000 千円	
年 効 用	②	62,487 千円	
廃 用 損 失 額	③	千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	43 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0507	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1,232,485 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.19	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2,919 千円	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、キャベツ、畑わさび、カーネーション
営農経費の節減	営農経費節減効果	36,746 千円	ほ場整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、畑ワサビ、牧草、カーネーション
	維持管理費節減効果	16,567 千円	道路・水路の改修に伴う施設維持管理費の節減 対象施設：道路、水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6,255 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路、水路
計		62,487 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	徳島	地区名	脇中央
-----	-------------	-------	----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	471,870 千円	
年 効 用	②	30,556 千円	
廃 用 損 失 額	③	千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	40 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0515	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	593,320 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.25	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	△140 千円	道路、水路の改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路、水路
	営農に係る走行経費節減効果	14,468 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経緯費の節減 対象輸送作物：大根、キャベツ、タマネギ、トマト
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	16,036 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路、水路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	192 千円	安全施設整備による安全性の向上 対象施設：道路
計		30,556 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	徳島	地区名	三好
-----	-------------	-------	----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1,194,144 千円	
年 効 用	②	79,554 千円	
廃 用 損 失 額	③	千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	44 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0499	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1,594,268 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.33	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	39,753 千円	水路整備による単収増。 対象作物：水稲、タバコ、ナス ダイコン、きゅうり、ブロッコリー キャベツ
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2,616 千円	道路、水路の改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路、水路
	営農に係る走行経費節減効果	22,769 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経緯費の節減 対象輸送作物：水稲、ダイコン、ナス、キュウリ、タマネギ
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	12,077 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	一般交通に係る走行経費節減効果等	2,339 千円	道路改良により営農に係る走行経費以外に一般交通に係る走行経費節減 対象施設：道路
計		79,554 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	香川県	地区名	内海
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1,009,050 千円	
年 効 用	②	139,067 千円	
廃 用 損 失 額	③	5,449 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	37 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋ 建設利息率）	⑤	0.0539	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	2,574,643 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	2.55	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	21,706 千円	用水路、道路整備による作付面積の増 対象作物：水稲、アスパラ、大根
営農経費の節減	営農経費節減効果	7,772 千円	水路整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	7,975 千円	道路、水路の改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路、水路
	営農に係る走行経費節減効果	15,113 千円	道路の改良に伴う走行時間の短縮による労働時間や機械経緯費の節減 対象輸送作物：ミカン、ダイコン たまねぎ、オリーブ、カンショ
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7,569 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路、水路
施設更新による災害防止	災害防止効果	78,451 千円	ため池改修による農作物、農地および家屋等の被害防止
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	481 千円	安全施設整備による安全性の向上 対象施設：道路
計		139,067 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	愛媛県	地区名	東宇和西部
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1,532,975 千円	
年 効 用	②	179,713 千円	
廃 用 損 失 額	③	53,312 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	64 年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋ 建設利息率）	⑤	0.0452	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	3,922,639 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	2.55	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1,276 千円	区画整理等による新規転作作物の 単収増加 道路整備による作付面積の増 対象作物：キュウリ、イチゴ、大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	11,408 千円	ほ場の大区画化による労働時間の 短縮や機械経緯費の削減 対象作物：水稻、大豆、キュウ リ、イチゴ
	維持管理費節減効果	15,240 千円	道路、水路の改良に伴う施設の維 持管理費の節減 対象施設：道路、水路、ため池
従前の農業生産の維持	更新効果	12,292 千円	老朽化した施設の更新による 従前の農業生産の維持 対象施設：水路、
施設更新による 災害防止	災害防止効果	139,497 千円	ため池改修による農作物、農地お よび家屋等の被害防止
計		179,713 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	鹿本北部二期
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 2 3 3, 9 7 5 千円	
年 効 用	②	6 9, 4 1 8 千円	
廃 用 損 失 額	③	6, 8 3 9 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0516	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1, 3 3 8, 4 7 1 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.08	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	16,840	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、ミニトマト、飼料作物
	品質向上効果	4,106	農道の舗装による荷痛みの防止 対象作物：デコボン、温州みかん、清見
営農経費の節減	営農経費節減効果	14,465	ほ場の区画整理による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物： 水稻、ばれいしょ、飼料作物
	維持管理費節減効果	2,654	施設の改良、新設による補修等の維持管理費の減 対象施設：用水路、排水路
	営農に係る走行経費節減効果	5,193	農道の拡幅・舗装に伴う車種転換及び走行速度の向上による輸送経費の節減 対象作物：水稻、ミニトマト、いんげん、みかん、飼料作物
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	25,992	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	地積確定効果	168	ほ場整備における確定測量による地積の確定 対象施設：ほ場、道水路敷
計		69,418	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	大分県	地区名	玖 珠
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	799,600 千円	
年 効 用	②	49,842 千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	35 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	901,301 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.12	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	22,775	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、きゅうり、白ねぎ、ピーマン、とまと、大根
営農経費の節減	営農経費節減効果	22,971	ほ場の区画整理による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、きゅうり、なす、大根、はくさい
	維持管理費節減効果	1,197	施設の改修に伴う施設の補修等の維持管理費の減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2,899	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		49,842	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	諸塚
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	504,900 千円	
年 効 用	②	34,293 千円	
廃 用 損 失 額	③	－ 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	27 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋ 建設利息率）	⑤	0.0636	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	539,198 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1.06	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	16,010	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：ほうれんそう、トルコギキョウ、ホウズキ、スイートピー
営農経費の節減	維持管理費節減効果	6,211	施設の改良、新設による補修等の維持管理費の減 対象施設：用水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	2,324	農道の拡幅・舗装に伴う車種転換及び走行速度の向上による輸送経費の節減 対象作物：水稻、とうもろこし、茶、飼料作物
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	8,721	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、農道
施設更新による災害防止	災害防止効果	1,027	施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：防風ネット
計		34,293	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	東市来
-----	-----------	-------	------	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	416,800千円	
年 効 用	②	31,329千円	
廃 用 損 失 額	③	一千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	21年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0736	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	425,665千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.02	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	15,152	用排水路改良、暗渠排水整備に伴う作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：普通水稻,ソラマメ,イタリ ン,カンショ,イチゴ,ソルゴー,ソリダゴ
営農経費の節減	営農経費節減効果	913	暗渠排水整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：普通水稻
	維持管理費節減効果	427	用排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用・排水路
	営農に係る走行経費節減効果	7,252	農道改良に伴う走行速度の向上による軽減 対象作物：普通水稻,ソルゴー,イタ リ,茶
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7,115	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用・排水路,農道
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	382	安全柵設置による安全性の向上 対象施設：安全柵
	公共施設保全効果	88	水道管埋設に伴う施設の更新による従前の機能の維持 対象施設：農道
小 計		31,329	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	東南部
-----	-------------	-------	------	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	694,310千円	
年 効 用	②	50,329千円	
廃 用 損 失 額	③	一千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	36年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	921,777千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.32	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	18,839	用排水施設改良、ほ場整備に伴う作付け面積の拡大や単収の増加 対象作物：普通水稻・なつみかん・バレイショ・飼料作物
	品質向上効果	1,093	農道整備による荷傷み防止節減 対象作物：農道
営農経費の節減	維持管理費節減効果	342	道用排水施設等の改修に伴う施設維持管理の節減 対象施設：排水路・農道
	営農経費節減効果	14,191	区画整理に伴い機械導入、用水施設改良に伴う水管理の合理化による労働時間の短縮 対象作物：普通水稻・飼料作物・バレイショ・なつみかん・かんしょ
	営農に係る走行経費節減効果	9,165	農道改良に伴う走行速度の向上及び車種転換による走行経費の軽減 対象作物：かんしょ・ばれいしょ・なつみかん
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2,597	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路・農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	2,040	農道を整備することで一般交通に要する経費が増減する効果 対象施設：農道
	農道環境整備効果	2,062	景観に配慮した石積による保全 対象施設：石積
小 計		50,329	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	横川
-----	-------------	-------	------	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	9 6 5, 1 5 0 千円	
年 効 用	②	6 8, 1 8 3 千円	
廃 用 損 失 額	③	一 千 円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数	④	3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	1, 1 4 2, 0 9 3 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 1 8	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5, 4 1 6 用排水施設改良、ほ場整備に伴う作付け面積の拡大や単収の増加 対象作物：普通水稻・はくさい・小菊・飼料作物
	品質向上効果	4 6 1 農道整備により、生産物輸送の際の損傷軽減による品質の向上 対象作物：スカ・きゅうり・白菜・大根・かんしょ
営農経費及び維持管理費の節減	維持管理費節減効果	3, 1 5 4 用排水施設の改修に伴う施設維持管理の節減 対象施設：用排水路
	営農経費節減効果	1 3, 2 8 6 区画整理に伴い機械導入による労働時間の短縮 対象作物：普通水稻・飼料作物・小菊
	営農に係る走行経費節減効果	3 6, 8 2 6 農道改良に伴う走行速度の向上及び車種転換による走行経費の軽減 対象作物：かぼちゃ・かんしょ・里芋・飼料作物・小菊
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4, 6 1 3 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路・農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	2 5 農道整備に伴う走行速度の向上による走行経費の軽減 対象施設：農道
	安全性向上効果	4, 1 1 4 転倒ゲート改修に伴う施設管理の安全確保 対象施設：転倒ゲート
	水辺環境整備効果	2 8 8 景観に配慮した木柵による保全 対象施設：木柵
小 計		6 8, 1 8 3

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間地域総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	上屋久
-----	-------------	-------	------	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	733,270千円	
年 効 用	②	46,421千円	
廃 用 損 失 額	③	一千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	29年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0608	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	763,503千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.04	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	30,298	用排水施設整備等による単収増 対象作物：ボンカン,タンカン かんしょ,茶
営農経費の節減	維持管理費節減効果	730	排水施設等の改修に伴う施設維持 管理の節減 対象施設：排水路
	営農経費節減効果	14,464	用水改良に伴い水管理が合理化する等による営農労力の節減 対象作物：ボンカン,タンカン, かんしょ,茶
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	657	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路・取水堰
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	272	景観に配慮した石積工による保全 対象施設：自然石水路
小 計		46,421	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	中山間総合整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	沖永良部
-----	-----------	-------	------	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	771,225千円	
年 効 用	②	45,320千円	
廃 用 損 失 額	③	一千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	819,529千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.06	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	6, 2 4 9	用排水路改良、ほ場整備に伴う作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：サウキビ、バレイショ、タバコ、ローズグラス、飼料用トウモロコシ、ユリ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 8, 3 5 9	ほ場整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：サウキビ、バレイショ、ローズグラス、飼料用トウモロコシ
	維持管理費節減効果	2 0 7	用排水施設の改修、道路改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用・排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	1 3, 5 9 0	農道改良に伴う走行速度の向上による軽減 対象作物：サウキビ、バレイショ、グラジオラス
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1, 1 3 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用・排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	6 0 3	農道改良に伴う走行速度の向上による走行経費の軽減 対象施設：農道
	水辺環境整備効果	5, 1 7 7	赤土流出防止対策を行うことによる水辺環境の保全 対象施設：沈砂池、ほ場内土砂溜、種子吹付
小 計		4 5, 3 2 0	